虚受堂

文

集

太夫人無兄弟姊妹措置家務整肅有法侯	二十五年庚辰十三歲 是年 先外阻好能	二十四年已卯十二歳	一十三年戊寅十一歲	己能誦詩書通大館	一十二年了丑十歲自六歲後	二十一年丙子九歲	一十年乙亥八歳	十九年甲戌七歳	十八年癸酉六歲	ためなって
是家務整肅有法侍奉 先	恭人卒				先外租為延師課前					

因許聘焉 **迢光元年辛巳** 年丙戌十九歲歸 年乙酉十八歲 年癸未十六歲 先外祖爲莫逆交稔知 公娶伯母郭太宜 十七歲 五歲 丁四歲 先外祖深愛之 府君 府君求婚

宜人俱 E N. 、歉盡敬內外嘉許時家事壹稟於 サーマイン 母專太孺 下嚴肅無少假借烹飪縫舠以身率先 三 來 歸 必合得 至即數為靡不精潔聲色未形取辦皆給 歲 肵 二歳 太夫 歲伯兄先和生 蒇 先祖峻齋公 先曾祖名 **租毋尤加爱焉** 先祖毋曾太夫 曾組名園公 先祖毋 太夫 先

青治生施了無**遴家**盆窘卒時罄田宅不足償逋 (性廷謹) 家事畢集於 年癸巳 人卒 华壬辰 先曾祖終年授徒裁足自給及卒 |伯父略| 一十五歲 土八歳三 成 不關家事各攜伯母依婦翁居 一姊生 先祖峻齊公卒書名卒年五 八月殤 是年 先曾祖母 先祖

耀或日 體弱甚四歲尙不能步 先祖母飽食是冬自 同居至是始歸 上嚴寒時 瓮 父虎臣公卒 太夫人窺甑飯無多食 一歲仲兄先惠生 府君命出 大伯父卒後 先祖母

時以樂天知命寬慰 執爨悲嘅索乳者繞其側旣昏迺息呻吟愁歎者盈其 語兒婦輩云吾當時誠不意全活至今然以汝父專精 前生事艱難惟是為巫 太夫人無幾微怨懟之色目 水學雖餓死無怨男子貴固窮但閨閥內不知禮義或 推讁則心分擾不能自力此關於家道廢興甚上 我沒我得爲一文祭汝以章汝德也後 五年然後疾愈 、扶持抑掻與俱上下時其食而進甘旨藥餌焉如 7.14 荿 · 大伯母病甚手足不良 太夫人上奉孀姑下鞠子女晨與 Ś 府君 府君嘗歎日願汝他

曹誌之 極艱劬遇救得活 九年已亥三十二歲 十三年癸卯三十六歲不孝忠痘瀕危 成命授仲兄讀 - 年庚子三十三歳 一迎歸同居 ·四年甲辰三十七歲 一年辛丑三十四歲 一年壬寅三十五歲不孝允謙生 |||伯父婦家饒貲中落至是 府君自課伯兄數年至 太夫 府

是安全文長 一次 **咸豐元年辛亥四十四歲長姲吳來歸** 年壬子四十五歲 一十年庚戌四十三歳 十七年丁未四十歲 十五年乙巳三十八歲四妹生數日殤 十六年丙午三十九歲 九年已酉四十二歲季弟先恭生 八年戊申四十一歲 府君命以 太夫人相待之厚臨終時向家 是年二伯母唐太宜人卒二 先祖毋曾太夫人卒 府君命伯兄授不孝讀 一伯父後 瓦 稱 伯

年無軍 縣試皆前列寬不及待院試可慟也十月復移省城 化龔運昉五月聞粵賊復將上犯舉家移居城外二 府君命不孝從仲兄學 五里之澇塘河伯兄遇兩得疾醫藥不良數日遽沒府 をロンイニフンイフン 五年乙卯四十八歲一 二年癸丑四十六歲 年丁巳五 年甲寅四十七歲仲兄以府試冠軍補縣學生 丙辰四十九歲仲兄食廩餼 一十歲 七月得喉疾甫愈親友咸勸弗入 不孝補縣學 一娭楊來歸 是年二月二姊適候選知縣 生 仲兄文名藉甚是 善

行更三年知復何似吾有老親勢不能投筆取功名家 九年已 薦額滿見遺 吾命茍當絕雖家居庸能壽考乎 張來歸 The Company of the Principle of the Prin 公卒 年戊午五十 仲兄泣求了 不振親意責望厚不從此中乞生活行將窮餓 吾不以 未五十二 **〈闈試畢七日竟不起榜發知同考官** 第爲重輕顧天下上 府君以是 一歲才孝 歳 ١ 府君命不孝授季弟讀 ı 食廩餼 肝肺摧傷咯血增 大亂今歲鄉試幾一 府君 是年 劇 太夫人 囮 清

**周次写文集** 以二月十八日棄不孝等 調護應念必至聞聲卽趨或倚缝屏息竟夜不寢 **病前二歲氣喘甚不能動作飮食衣服皆需** 事 甫畢貲物罄盡 不孝請於 年庚申五十三歲 (許之六月赴湖北武昌為內江水師嚮導營營官 年辛酉五十四歲 太夫人量絕數四不孝等環跪泣勸强起啜粥 日鎮總兵官王君吉聘司書記以安慶克復 太夫人不解衣交睫者四十餘晝夜 是年 府君自仲兄卒後無日 太夫人橐筆從戎 府君春秋五十有 太夫 府君

也後 一葉遊往不州旋歸 精思已能料理家事 自出する。自じて自己ではました。 縱令安穩亦獻欷即今白髮倚門望未識青袍徒步 政使李公相延入幕至湖北李公以病免不孝亦歸 同治元年壬戌五十五歲不孝辭王君歸友人李君 河水深深梁正絕炎雲莽莽樹還稀孤行子 風逆舟不孝急思覲 一年癸亥五十六歲不孝為前督辦陝南軍務江 月移駐安慶 太夫人 八見不孝詩冊中有云百歲親心逐子 月不孝婦張卒李弟慧甚爲文有 母步行抵家不敢告 مر. اجا 太夫

またが、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、

孝具述所以 涕近柴局帶笑揮 見なつはこうなと 犯險乎今後愼勿爲此也提督梁剛節公洪勝寡勇湘 九眞廟不孝隨梁君帥敗卒突圍出梁君所部一 |年申子五十七歳 年乙丑五十八歲不孝會試中式進士 得免者裁數百旋隨梁君移營 **(幕復偕往湖北** 太夫人泣曰汝不思保身以奉親 月婦周來歸十 是年四月官軍敗績 月北 新水上 汝 覃恐誥 乃徒步歸 贈

陝西往四川( 九月北上 君儒林郎封 行至樂昌 が年 、年己巳六十二 年戊辰六十 丁卯六十歲不 寅五十 **小孝婦周卒 不孝十** 太夫人 是年三 九歲季弟補 母太安人 一歲不孝二 歲不孝散館引 一月季弟生女媚祖九月殤 自江南旋里爲 一月歸里六月偕季弟赴粤 月往江西 見授編修七月由 婦張來歸 是

充雲南鄉試副考官季弟報捐分省補用知府不孝 大学 11574 請於 九年庚午六十三歳 - 年辛未六十四歲季弟病甚 7 孝續假三 依倚毋家其幼女甫八月大嫂撫爲己女不孝請 月乞假歸里 一月季弟卒五月弟婦張又卒不孝以侍 太夫人命不孝迎之同居姊丈家貧姊生一 先外祖卒舅父外出音耗斷絕舅母獨居無以 、偕舅母二姊及子女俱入都 太夫人舉家北上方 是年正月季弟生女肇祖 先外祖在時腳姪為子 母無 子 吾雖

虚文堂文集學卷十六 妹八人今僅存兒及姊如不同行他日數千里外吾母 濟甯行襲已空不孝復往山東省稱貸以濟值水涸 吉嘔血十數口不孝旁伏涕泣不能仰視時由長江達 **逐興輪頭暈嘔吐** 不考屬興夫平步緩行次日 太夫人乘與往德州 汝姊甚然兒家累太重宜三思不孝啟曰兒兄弟姊 始稍安帖凡五 困苦欲 太夫人類行哭莫於 太夫人日若是聽汝為之六月婦李來歸上 見不得兒何以自安兒惟循理而行必 日至徳州 太夫人行数十里以不慣 先府君墓而默佑合家清 太夫

**离東北園五月**木孝生女娛祖 爲迎養舟車轉徙困頓流離飲食衣服不時不適幸獲 安抵德實 年子申六十五歲 二月不孝奉 一年癸酉六十六歳 先到京復 **鸢亦心如死灰無復曩時豪邁之氣事勢所值迫** 太夫人意旨有志向學述作斐然又 三歲姊子已十八歲至京後忽病狂數年死 不復問家事自季弟奄逝 太夫人厚福有以庇之時河凍不能行 命除夕仍囘德州持 閏六月大嫂所撫姪女蘭儀 太夫人如失左右 太夫人 **介能經理諸** 

宜 是年基週 世出るないと言じる 一日 光緒元年乙亥六十 **姆試正考官十** 丁三年甲戌六十七歲 虎坊橋東姪女肇 伯母郭太宜 擢 補 女順祖 右中尤五 覃恩晉贈 人卒四 (夫封 一女慧祖 歳 E 先府君奉政大夫封 月不孝充會試同考官 母太恭, 大考不孝列二 正月不孝生子榮祖 是年末 一等第五 軍恩 母

日月日ンピーライン 順祖殤 五年已卯七十二歲 **无浙江鄉試副考官十** 年戊寅七十 年丁丑七十歲 年丙子六十九歲 一月不孝升補洗馬 戾辰七十三歳 歲 正月不孝轉補左中尤十二月女 四月不考生子壽祖女昭祖殤 五月不孝升補侍講六月子 五月万孝子樂祖殤六月 三月不孝充會試同考官 一月生女昭祖

過差今娶婦望孫逾三十 子圖以進 庶 遲速有定 孝聞之心痛甚百端解慰 子则 有圖畫 而以孫男女相繼 孝而泣不孝亦泣 .../601... 太夫人指謂不孝 山小兒者 補祭酒 但我為王家婦五 四歳 \* • 太夫 可將來楊購得近 恆悒悒 海見不 p 首云朔镆 太夫人 十餘年自問生平 如此兒謂我心當 已而謂不孝 秀典試程 , 日我豈! 取此 所繪 1謂戚楊

虚受堂文集聚卷十六 殊不怕取張雪色壁對之忽移時旁觀竊怪詫惜此 浮世思遂令出塞曲 門村尙疑丹靑昔已誤圖畫今何爲空畱春風面永繫 毋言吾戲耳 **സ**隱願遂 如聞琵琶聲切切摧肝脾長跪告 玉肌解知該草心未愛柳葉眉囘頭顧 刀另羣學語索抱環牽衣蟠桃百歲觴玉立森房帷 不將人 託死作家珍貽再拜壽巵酒援筆 扶杖觀見嬉要須將我意寫入蘭陔詩斯 、懷哺之以芳飴余心不遑安欲語久淒其 不用長嗟咨我如桃源 人怨別離北堂春晝間 阿毋三年以爲 人漢事非 小子許大雪 毋 圖

週 弟先泰挈眷北 都中且 **欷歔久之** 梅其可追 題 則 北 覃恩晉贈 可必乎惟虔祝 **畱**友 不孝向 耶後不孝面託友人迄無應者閏上 先是不幸在四 了承望顏色喜懼交乘了 ·五歲 人家 上乃攜以來 百年會有盡 先 府 君 通 奉 自庚辰後 太夫人七 祖 期得良材而不獲用 補之 友 太夫人甚喜 父默佑庶家門 入夫封 人以建昌花板 小忍暫 母太夫人 人時 有微 與 是年恭 年

· [0]

Ŀ

世末 不孝奉手扶行當語 不孝我七十許人 ,嫗乃退每食必命不孝分嘗少許巡視屋前後必 無助此心耿耿耳視不孝不啻 **考旁坐子末不孝退楊宜** 入復起少坐就寢則 如之食已亦如之日加亥 冊侍坐食則侍食食已 冊侍焉不孝他往則寡 众就 **嫗旁坐待明**不幸 (他無所慮獨 一歲兒不孝

連領之至次日牙齒緊閉痰氣壅塞不孝百計乞方 聞信過歸十 **小孝附耳言求吾** 大請代竟於十六日寅初長逝嗚呼痛哉 行步甚適 辎 疾言遠色遇事條理秩如老耄而聰明不減或 料初八日申刻突中風痰服藥罔效不孝初一 太夫人諭以途閒保重勿食生冷不孝稟命遂 一日抵家 母心勿焦急調治當愈 派往 太夫人 東陵行禮三月初七 八欲有所論不能出

不孝等勸諭至再日渠大可憐念若有母奚至無 中偶犯寒曉出或晚不脫衣臥 敦篤子婦勸以少息非 接城鄉和而敬周旋終 耶今居我家卽與我誼同骨肉苟心力所至 是夜懸念至不成寐嗣後不孝等遂不敢 八知御臧獲恩意周至食則 所安也有友 日 聞

守家規一如 雷之前夕 竟之志不使吾 無時想至自奉則務崇節儉逮 早觀理道之歸勉自 所願也細務必親終日勤動恆言吾非好勞性 吾但願家庭整肅內外輯和男勤女奮即是至樂 或强奉之 一婦人不能作苦福可長享耶顧語兒婦輩日汝 教迺如是吾家相傳家規當世世謹守之故關 不孝泣稟 集興卷上 之旋即屏置家人 毋生存時謹身安分以繼 毋含恨九原嗚呼 一樹立像 太夫人前云脫有不諱兒必恪 人勸以戲具爲樂 ١ 太夫人令德彰聞 無玩好之需金玉 予知識庸闇 先府君

章 孺 · 新京公園の通行東西の新田南東大学をますいた。 からいりのはしまして 時無地可以自容者也苫塊餘生恐卒塡溝壑 不能修身以型家啟後 、年譜例 卷惟 別 庭幃 備著 、盛美謹倣 蓄道能文之 **永違語笑此所爲** 太夫人 陽湖陸祁孫先生述其母 棘 託 、懿德艱遇附綴瑣事 娛 毋思覆 五内推崩 謹 述

國 監 鮑 祭酒 公卒 王君以 叙次其家 。愈、有 弟骨肉之 光 緖 F 直。 埘 其。夫 E) 年 展相環 第°年心瑜 Ö 也 五 速。 嵩 占 毋 喜 燾

家母家又貧通奉公悉迎以歸曰寒饑均之可也已 無閒貧又益甚姑且老通奉公游食於外太夫入 **丣稍稍饒太夫人生子四長卒數年其次又卒通奉 姑能得其歡旣終祖父之喪家益落兩兄姒依 4.子甚亦卒其季尤才也又卒祭酒三娶妻有** 甌鵬其姑每侍食輒假他故去問之日食矣 言洎通奉公之喪太夫人年五十有四矣 **故贈通奉大夫王公及事其兩** 食其

老此以定文是一种人 或有他缺乏為之欷歔不歡 子寓其家偶 撫 而 繙 聞 談皆 有然 年 疾苦必計所以 讀書識大 失 衣服寒燠之節太夫 也 類 十有 體 使 肅 也 更 六月以疾卒於京師年 **聆其言秩** 援 、
歴
險
夷
豊
悴
宏 伺之或夜 |拯得當 <u>F</u> 酒 至 一城獲皆然祭酒 、秋然以 乃已 人見之歎 不能寐其心 ]親故待 忍 和 終 更 依 先 翢 惠

始勤家 きんだされることの 夫人自京師奉太夫人之喪歸葬長沙其地 其日當大祥之前 · 助先謙官祭酒以其官封贈其父通奉大夫母 三三分 。德。 砌 関、隆。宗 月庶幾以 美。 成。 (遂其孝思銘 戚·生 人。 人。 為 。 為 。 得 。 トク 日

Brotis + de la de milit se alla 1 房同考官揭榜時見慈銘名以其老也感晞之甚 被擯心感祭酒然幹並盆 甲戌會試卷在祭酒房力薦之佹得而以文字違 呈牒 事親孝太夫人年高多病自昔歲後疾婁作 鮑 始益感祭酒交日密於是始知祭酒之 石若孺子每 門祚之單隻太夫人身世之劬勞始 同治 翰林院乞守故官祭酒力沮不能得歎惜 墓志銘 一申與今國子祭酒王 爲慈銘言之 以遏庚辰成進士祭酒 一君允謙相識甚 1 李慈銘 聞

生諱敦富 相見必返 人姓鮑 ٥ 太 氏先 再氏 0 問 起 居 由徽 熊幼失恃終鮮兄 年譜屬爲志墓之文其曷敢辭 今年 州遷湖南長沙府善化縣 之逮事 不能喻之它人 弟事父孝 . o 呼鮮 之 事

計画の大学は大学は、Uの方のなかと、大学は基本では、サリカのでは、「大学には、1980年のでは、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年の大学には、1980年

のでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、10mmのでは、

能文次君以高材生食餼而先後天歾俱無子贈公 黨當竟日 公卒迎長姒同 如也生丈夫子四皆躬自授書泉長君次君各授 勞瘁而心傷葢有不忍言者既祭酒連 子亦卒時祭酒 湖南北祭酒從軍鄂皖之交太夫人忍死以 使雲南假歸省視季君亦 餐 育盡其力養生 而操作盆勤時堂 居病視之惟謹五年無倦色門以內 而甘旨無缺或飯時託故不食嚴寒 已補諸生其季何少粤寇方熾跌 送 |上溫凊||而裘絲之其兄 死盡其誠和 娣

酒述之 始欲求 艱 無後太夫 朝號慟也 其所行雖 年色 終日 無子於是祭酒迎太夫人 一日含飴弄孫以慰莫年而 ů 即其後 **志銘竊惟太夫人之所處誠備生** 人念家世之衰殄子姓之不育常 亦 閨 o 阿之 庸德然 以富貴婦 先是贈公 0 不可得此 人處

以為其人以為人所以不可以以及其一人有以此以及以及以及其以及以以及以及以及

縣學生分省補用知府女四次適候選知縣善化襲運先惠廩膳生三卽祭酒同治乙丑翰林至今官四先恭年七十有五距贈公之歾二十有二年子四長先和次 嘉慶戊辰六月十九日卒於光緒壬午 皆殤以祭酒貴封由太安人晉宜人恭人至七 可以無憾已太夫人生於不見多言 雅岡之阡也 無孫也維艱維動以 無孫也維艱維動以 錫。成 魚。明。ラ **之。今**。≧ 涙。終。其

夫之學逮夫亡而子能學太夫人不以貧累其子之學 夫之學逮夫亡而子能學太夫人不以貧累其子之學、於其親無以異也贈君積學而貧太夫人不以貧累其 於王王故長沙舊族世業儒太夫人之孝於翁姑與孝 謙從學於予又爲予親姪女壻予習醫且老故中外常 無異於其相夫時也性嚴整小疾不肯延醫以其子先 という。一般を表を表を表 王母鮑太夫人墓表 太夫人鮑氏善化儒家子少明詩禮事其親以孝稱適 訊歸復問日聞江西地大於滇人文較盛我子 無遺議信乎予告以信然則喜乙亥先謙典江西 日忽問日音兒爲公弟子其典試雲南或謂能 周壽昌

一盛無金玉之飾鄰婦有小兒病向太夫人借金指環煎 藥迄無以應偏索之家人于婦中亦卒無此物也初苦 無極於貧矣而太夫人之食貧如故其子雖强奉之而 殺贄幣之豐儉其識理道 すれるではこをイン1000人ろう 貧養給從嗇迫其子稍貴而太夫人無改其貧及後 內子典浙江試歸問複然而從 皆而且多寒畯乎予告之 (至於沒世宜其子每思之輒痛而不能 人之志定蓋終身焉耳矣而痛有終

ージ・スタラ

虚义文文、农工、		為成邻式幷以慰其子焉

益吾祭酒為示慕 | 示慕 service but it a desired to the 為龍為 **廬銘** 德 況若君骨肉凋喪惟毋之 母獨吾母之爲哀葢躬習其敎相 Ò 廬 -4 變 屬嵩燾書 ĵ 戸壽歴 盡 • 依哀豈 因 一難以 , 1111 銘其辭 郭 爲命至 ١ 尚麗 第哉君 追

		人同此思而傳者獨以其才我銘其 <u>廬</u> 以告示 是沒算及集聚第一次
		懷時光

内之法家置 家事後六歲歸載之贈公益從姑曾太夫人 通詩書大誼年十 成豐乙 日或 家傳 ·謹 食 膼 一喪毋亡晜弟 自廢以奉姑嚴冬猶著 謙共學其家| 、放所為 見其門 鉅 楨

客追性 撰年譜乞楨 疾卒年 望孫意益切未及遂而歾卒太夫人旣喪三子又喪婦四殤男官國子監祭酒次先恭縣學附生分 一老矣自先謙通籍迎養太夫人京師更十 曩昔切劘之樂杳不可得而贈公旣前逝太 CONTRACTOR CONTRACTOR 七十有五先謙篤孝哀慟尤至旣御匱歸 為傳以傳之太夫人有子四人長先和後 惠縣學廩 女婦多矣顧罕 生並蚤卒 大先謙! 同治乙丑 。府

奚歉哉昔太姒嗣敬 絕 • **大道信之矣** 持其道以承先迪後以 齊媚嘗有百男若太夫人 1 ۲

敬吾同舉秀才年齒相若文章意氣睥睨一 温慈愛略如子姓荆釵裙布無華服也歲丁已敬吾 はいることを言うない。 至太夫人喜敬吾之得友也則請以年家子見見則温 **麻 益 吾 推 兄 愛 以 執 友 事 恩 壽 款 懇 殆 逾 敬 吾 已 而 聯** 家之得壻也則更以嫻婭見情誼 母鮑太夫人像質並序 再拜於是與太夫人 夏益吾祭酒以太夫人 入翰林以其從姑媒而歸恩壽太夫人亦 、別凡八年矣憶自成豐甲寅與 人遺像在焉神朵如生不覺涕 一憂歸假館莫將軍閥亭 彌篤 楊恩壽 一世款懇綦

方とうとこってること 見時益吾以 得官時也思壽灑然異之歸而舉以告吾婦且詢其 內望家道隆隆日上 事 之足法 。在。齊 注支部籍客京師 老。曰。在。 而。若。室。 吾爲諸生時也 档 。不 時·更 事遲於 大考擢春坊屢司文柄 吾婦雖於 The state of the s 。重。 無怨。法是是是是一个 |而太夫人所以自處無異益 太夫人為姑姒行而與其季 閱月有奇幾於無 且·日·艷·持膺·著·鄰·躬 師 赫·女·訓 封·袴·之。引 同治 **Lilit** 又以能文章 。衣、諸 子·炊·狐·天 甲戌恩 節 僧然

騎易恩壽稱其易而置其難烏足知太夫人哉謹繫以事不能舉其它嗚呼夫子不云乎貧而無怨難富而無 養堂光被桑梓七五高年笑脫塵滓遺像當筵言笑生 虚安堂文集聚安十六 前賤子瞻禮泣涕漣漣溯從拜母二十九年盛宴雜 公以敬以孝爲古樊英亦今德曜御冬澣葛添薪仰槐 蘆簾偕隱荻火餘灰森森玉樹照耀庭階伯仲旣逝季 人次居三盆吾亦三 氏旋霾佼佼叔子芥拾青紫介壽弦歌娛親經史歸 並 巨鮑姑旣仙門風誰紹篤生女宗四德克劭歸我贈 記曩所聞見者於幀 稱老者別於盆吾婦也僅知此 , 無

			<b>悽對鑑煙</b>
			1113.

母鮑 明哀感 Z 誎 がる 宗令。 性 旣 政发 圓運 深。 葬 孤 陳 Φ ¢ 一顯克紹子 子也 繆。於。 依慈 本孝思 1111a 夫人之靈表 造遠 憂。 蟾依 。猫 。泥 誻 Q

。導。毋。文。何。安 。仗。搜·無·荼。 慶 夏 · 虚·功 。髮。觀。奏。有。不 。追安 御 窮 興 不傭 大兵元二之 有曜弗 夜、心。朱、兒。司。齡、負 里、監。如 旣

我無愉悅居康不怕知貧非患超矣賢母寄之遐觀整 等員操不移九變復貫憂叢於身神周於算人所欣嗟 等且嗔令悲更憶柰何冥冥亦從老息於乎哀哉先民 英且嗔令悲更憶柰何冥冥亦從老息於乎哀哉先民 第四点とかったとかと | 10m2 | 1

肅 氏之 於何稱 明麗行 明 姒勞嗛 合法式 匪 之筠其屯 警夙 植 國 遴 少君 艱 與仰 浴濯 願 郇 也 獨冬暄 胄 嘫 昌其 組 子茂裔 紃 嗣 一勞事 門作 而 屏言若畏 逮 0,0 J 和·马纳·马 埤盅: 发 母儀 袁 康 匑 然 其 匑 匪 昶 Ļ 饋

產。彼。靈芝、比。根 銀 室賢好 華 君 國 險 譬·通 使·受 繼 《依 。加 Ģ 豹 工權良輔車工論嗟咨上 以 引 並 登 が 礼 孔 多 が 羅 。怡。解。 J 卽 叔 剱 張 O 也 之。有 仲 减 燕。 29 潭潭 馳 亦 岸潤。 峫 卉非。 為 奇 謨 玉 鳴 珠。 國 季 則

人式愵幽衷嗚呼哀哉 集聚松上 一樣成欽懿行嗚呼哀哉行輔世教惠含哽六館之士揆慕滋永生獨涕洟。一勞之箴千載觀省全歸斯甯返漠而 有昭羣蒙薰然慈仁 矣壺儀將躋大耋 行瀟碧含悲嗚呼哀哉遺合戒 錫羨祺

憲委華匪莪 母 和强吟 日而太夫 **文堂文集**《卷十 中閨 鮑太夫人 承顏訓幼 懼凍殺而分飛城上之烏獨畢逋 贈公選事重闡能語食性潔蠲槪散 月維 而爨量腹而食勸威姑以 而絡緯先雞鳴 輟讀王 熏扇於 誄 疾作聞耗過歸未旬遽 班誡誦詩而取德象帛拜而代香 事靡監鬼伯 沙王益吾先生陪祀 而總笄芼靟焉愉愉 何促嗚呼哀哉太夫 卒嗚呼哀哉樹 飯伴稚 而告瘁 東陵 7

之勞畢萃牛衣之泣靡聞食貧而旨媚學相勖葢偃 學先姑少君雖貴詎忘前事何悟鼎養方途恆幹不 角前沈而後揚消陽之運不綦然與逮先生入承明教 也具穹靡忱漂搖其室屢瀕祝予之痛遂选未亡之葘 **胄子龢笙詩而馨膳被宮錦** 百分九樹之華撒其環瑱以贍六婣之急敬姜猶績 桶手調働絕徐家之新婦植梨踵武僅賴季氏之 團團初日照見乎墙盤棱棱朔風威侵乎葛帔龜 學文夫子四今獨先生存耳嗟呼回黃轉 奚常彈徵叩宮甘苦之懷自喻去齒而至 而戲綵太夫人佩其象揥

章序乎維孝厥聲英英夫子 壽之各百年有窮今聞靡竟竹笥遣戴椎髻儷梁姑恩 語とときて自己的 旂其詞曰 賢聲敢述累德之篇不辭誄長之婚昭我形管表之素 **寶曲女憲補亡餅罄罍恥母兮傍徨約其口** 于解而歸養嗚呼哀哉一 呼哀哉三釜之祿反哺曾幾何時 寒泉咽流悲谷淪曜歌處殯而電逝鏘楚挽而風凄 終極遂使悲隱之之慟鄰母感而輟餐聆皋魚之言弟 なし 新隸充公之門下稔魏國之 、豪棲貧服道祕文怪牒 一溢之米街恤迺

哉先訓如 此歸眞侮甬辦標遺愛在 然秉心無競鞠玄匪榮藜奠 何厚夜曾 畫 息耗毋以璅璅而 圖 節最怒阿龍故超 羅沒勸學 省識賭焉心寫 不浹旬悴葉號旦淒花斷 愈 庶幾腜 人嗚呼哀哉疇昔 玉荒穀发 是軫能勤有繼 條悲買鵙 祝 毋虚弓冶

Lt.	mentskingret I				eses el Lemon).				Jisa I
盛									增悲湘波嶽雲靈兮儻來嗚呼哀哉
**文学文集。*********************************			,				٠,		湖。
麦				, i	•				波
集		i 1	į	'					嶽
									雲
卷						i			靈
+1								,	今
本。						:			儒
1		:				1	•		來
									三靈兮儻來嗚呼哀哉
									桑
			,						
					•				
								, †	
						:			
						मन्त्री स्टीस्टेस्ट वर्ड			

其詞 辛憲仁恕之戒崔母淑德之懋被量而匪厥寵躋鮊而 吾師長沙夫子蒿莪罷授金石輟響感愴寒泉纘今遊 **禺摄參與子之竺撒挶誓興惟桓少君是徴姆教才** 術姥女師尤持士行服誥弦雅嫺禮怕性异世仉湛 匪厥壽祐孫旣辱假館備聞徽嫩僭不敢解敬成斯誄 重史主文集平长十 土毋鮑太夫人誄 鳴呼哀哉素襲盈幄銘旌在堂師氏劬苦坤體含章 暉敬媲德曜逮事尊章兩世康舒不米而爨有舖 八年三月某日王毋鮑太夫人疾終京師邸 繆祐孫 第 嗣

一幹劍戟書史志邁班生壽促顏子棘心用推亦孔之 **紫瀬侵臂不弛衣昕不拭櫛冠幘相對蒸愼慘烈**悬 撈塘仲負交譽已揜羣雅病試有司天不年假季也 塞能解赈號爲釋楊叛之訌楚些實傷傷哉宗適遠 乃給之存豈珥蠲華乃珥爲飧盥褷伺顏舠烹視力 索棗愉悅諸母臮姊彼甥與弟爲懌晨昏骨月偕戾 慎旃方詔連如涕流 漁枵腹謂飫美膳儲甘銜築忘苦咀樝邊酸豈綌禦冬 羅校芸 人、そぞうこうこうで 門慈譯虔秉往佐戎襜爲博旣稟迺領國賓迺班 視草馳傳乘查千 矧維通奉西 - 里板與十年 河慟深形鑠瘀傷 京國牽衣 憂 阜 抑

帝廷奏賦 悲傷於乎哀哉享年耄紀詒世母儀體領雖邈德問 **永錫難老靡遂含餡猶悒懷抱硅裳則卻節諧璜瑪沈** 、烽形不朽靈兮格思 弗御情厭納綺鄰巷春寂芭舞徒揚穗堂悽沮蠶露 恩權青宮成均 | 尊笙鏞鼓鐘克娛壽

壽稱觴京邸尤宜 芬椒作佩衍令暉之派香茗成吟婉婉髫齝巳代 虚安生文集》卷上 治居歐陽門下親聞畫荻之型依韋母幔前有待傳 內政幽閒嬪則能持家以博 一也重闡並侍舉案 乎惟太夫 綽綰者干齡若我益吾夫子爲太夫人七 媚 此春暉 一酌大斗以延釐集搢紳而祝嘏矣 人蘊華珂里毓秀璚閨搴楚澤之芳 五之天晴 銷 相莊靜調洗手之羹敬 帔仙霞攜來 圳 親歡迨歸於贈公載之 口陔蘭譜堂 帝所樂起 **上**笙三之 "銘 毋

**藤承筐** 眶 勉 女矣旣而 金之產奚償 汝南之名成於內助會 同 心拮据予手問慈幃之 前 喬木成陰連 戍不羡名 が上海水 尺猶聲葢慈教治於公 稱飛蟬醉鬢搜蓋 硯之 龍藥店銜 奉槃沃盥 **一耕鮮穫東方** 枝競爽謝宏微之 雷 贈公以門宗多悴家督 受 石闕 辛偏勞幼婦 而 迫 随 以何言紫 諸姒賓至則壺 改承類顯標 <del>|</del> 令德 大夫 遺 鳳天 蘋

菌 我益吾夫子幼承庭誥長守楹書類謝朏之嗣莊賴班 **昭之授穀良由太夫人推折葼之訓自昆以及弟申集** 遠 所誕蔭以卿雲非貴來而悟稀乃積善而餘慶觀於 則泥金有帖還鄉而衣繡爽軺以閬苑霓裳增光舞 之義視國而如家故勉以從軍不畏仲魚之及難課 〈彀羣誇張鷟之選錢用是藥榜題名玉堂聯步望 堂文集聚卷十六 一之交簡 鶚凌霄而起也且夫靈珠之輝吐於神澤黃 亦飲其誠宜乎開家罔悔燾後有聞四雛接 隱偕賃庶而伯鸞益顯其高學喻斷 小水碟 風 ø ď

于動容畫 而往视牧子徽 海之銀濤珊披鐵 以翹材試春明而校士瞻斗牛之紫氣剣躍 傳鉢 一日簪毫儲端進秩其閒輶軒屢駕衡鑑高 Ш 樂焉於是恭返板與同遊京國華孟姬 味歸 八紀爲榮詞臣爭羨況乎凌雲奏賦 佩以從 一餐莫不想西清視草之才而 徒 網 下直花甎便趨親舍編成竹 鯉 庭桃李到處新 陰

**楼勞則思善猶舉敬姜之箴養不求豐曰惟魏國之** 彌坍而入侍談棋之與姑婦交歡扶杖而來女孫粲 を出ておりてもというとして 至於鮒逢涸轍拯困維殷鶴有餘糧分施靡怠遠貽嫻 團醫得之雅集婆娑樂此高年福正未有艾也太夫 朝列芳徽播乎洞庭此則歌形管三章難方其懿歲奢 **婭覺惠問之纏綿下遠嫈與感恩波之曲盡淑行推** 万且約身以儉練性 展年是古稀站從 、會宜集其休徵者矣屬以裝實之月敬逢設乾 仲雪早偕予季以遊仙而羯末封胡更 和教組紙以 天錫 鸞書五色與翠軸 **台舞勤卻鉛華而** 

まいいいいなる 1 夙受深知遙飲慈範數魚軒於都下楚南之從官 **%** 强詩賤競奏洵宮坊之韻事為。 哺於師 H 閥北之承 龍標醪 思獨 晋雲歸衡 曲謹序 酒熟法 盛世之

虚衆堂文集》卷十六 習提甕之勤李毋康娛早日 路每積自瘁臞大福恆基 馬傳司隸之高華鞶絲克勵乎婉心麻枲早嫺夫手迹 葢聞花名綺縞經一 加且 宜白諧六禮於與門我太夫子和光同塵積善成 心爲窈美意延年蘭澗金盤孕媪神之靈秀鹿車 非虛聿牧休徵揄揚尤協恭維王太師母鮑太夫 乃實霜露勝則天爲粵宛炙潤久則地亦競環故修 母鮑太夫人七十壽言 一金鑾雅睊巳解工書納素伶俜偏能詠什迨三 一百歲而始華桃出磅磄厯 於屯塞是以少君貴壽當年 日甘掩錢之困聡言徽景紀 周材芳 一萬年 育

倫實袁隗賢孋繭作同功服成偕隱惟時陳羣門內元 之書宛宛同心入室舉孟光之案程氏爲淵明素對 席占偉兆於充閭因之玉長庭階有神光之照社李家 伯壎仲箎箕帚班中鍾禮郝法太夫人職思孝敬誼盡 樂非淑耦曷襄內 政太夫 人則瞿瞿治 業持 家 循 曹 五兵之羅庫坡公俊贍傾萬斛以飛泉惟眞儒 万扶侍乎仲弓叔紀堂前楊進稟承於文母鶺鴒原上 娛修儀悅尊上之顏祗事隆家人之道旣而金鋪簟 知貞能勵俗郭林宗隱不違親兼以 氏 星珩璜麦度折葼惠洽壼荻 乃薄時

晨羞燭撤徐機因停宵績甚者瓜經屢摘復護植 習蓼而避茶遘否罹愿或形茹而神藥塵封范甑逐 婆烈日三芝秀草齊折罡風 **拨失天扶荆枝而使活吐甘絛子手合膏酏茹苦勤家** 班姬效職未蹈時迍萊婦食貧不聞家難居安履 島已孤飛更勞生其奚益縱安廟領追濟囏難太 春達种詎甘臨之未 此 皆閨梱之難能 恒貞淵懷彌定威姑待養織槧芘以供餐正 **卜值苦節之頻占** 猶非太夫人之至德也 污復堅志 樹靈棒 鳳長 嚋

當 卿門第扶持胥賴乎桓嫠 ,疏帳 青鏡數從 黑水星槎之返深白雲親舍之思棹 (粱妭之懿姒鍾爲 卯日 曾 禄秩惠必逮 咸欽蔣 開第康莊太夫 |終軍志: 一崔邠奉母躬導前驅 紅 海以 母之賢大帶 肚駿騁天循孫抃才雄鸞騫省 人誨元佐 羅 輝 華徒 應氏之邴昌我 珊 、猶復 銀膀銅 · 行功名成状還資 附依 朝衣猶 赚約束心愉 温 光盡 模逐 樂藹之官隨 恭恕能待 出敬姜之績散 ~ 向現條 隗楫 夫子發德髯年 樛 之恩紀 綖警惰 所由 壁

猷允塞福嘏丕承者矣茲當設脫之辰已屆賜羹之節 記されました。 **珈永蘐齡於岡阜材芳等寒桃素李培自鯉庭翠斚金** 稱其福壽行見慶昌枝裔襲槐袞於雲丽允宜表式 月逢其吉著履端之義於三旬壽視乎仁兆大齊之徵 三花之樹西池王毋眞圖錫以嘉生晉國夫人 七豒朱堂戲綵珥王筠七葉之貂繡閣含飴撫元 發綍

任揚推而陳之竊聞鬱儀之景非樂耀所得效明樳木 梅與其列焉明年春闈北上五月恭 或無言而成蹊乃如響而斯應爰追述壼度宣著。 太師母鮑太夫人七豒壽辰同人咸願餔鴻藻揚懿 枝非棘林所能擬茂流光者積必厚條繁者本必 母鮑太夫人七十壽言 **祝解以爲壽** 丙子秋益吾夫子主校 嶽誕秀幼承姆教率履蹈和長炳閨型稱詩 一梅從侍師門頗詳顛末敢承執筆 浙闡沐光龍者百餘 屆 梅

總 ۵ O 溯 次含章之 a 迫於 始 崦 þ 夙遭 嵫 0 一弱世之 建、 ø 减 坚 屆 <u>د</u> 納 可

鮓 出出るとなっても、まり 飲瓊務必親終日不倦斯其賢德尤越尋常昔夫 **猶抱棋自甘志存衞裳之娶保泰** 咳潔蘭羞則鶴 将來美福應斯集 焉及夫子判馭西清供職東觀板與迎養慰潘 **甓之陰動孟楹之慨擊楫明志橐筆從戎時** 國官侍願洽魯侯之喜 酷頒 期頤有後而 **有誠警深周器** 芝 ø 特則程衣 ¢ j

書虎觀富覽鴻篇金泥玉椒之文蘭臺採祕帝虎焉烏 之字蓬閣刊譌日敦達乎 果突圍而歸允欽先見之明足驗福根之固今夫子。。。 選輔軒所采海宇蜚聲轍跡所經士類慰望乃至越 **壺於炎徼曾司桂籍之衡揚珠旆** 鳳味胥荷玉尺之量風暖春 地亦沐景星鄉月之輝西茂臚歡東甌引領 聖聰雨化深於後學朗 於贑江丰萃藥龍

技。淑、韝 家收選舉之效 志者豈淺鮮哉一梅等躬荷甄陶羣欽徽懿欣 說將床 下為天下扶古訓之衰則所以成 待。弦。抒 也 質明· 測.

母鮑太夫人七秩壽長時逸梧夫子以餼凜之殞累 具膳錦籲之服嫛妮其容故舊同僚罔不和會率將鄭 依函丈早熟儀型敢布設言聊當喤引夫松茂柏說 母鮑太夫人七十壽言 維强圉赤裔若之歲月紀 本於地符震出坎勞成功資乎坤德在昔廬陵· 賢成以

鄉人力。應夫嗚。 水家學追歸我太夫子載之贈公鳩案初齊鹿車共 金之倫木 心錡釜凤夜薦其聲香洗 宅裏形史紘紞獻功之 無。可。雖 交。風·復 **酉於眄睞** 。稱。和。 嫌。陰。韜。 蘭柳佩羣奉女師香茗裁篇 。大。干。 手羹場重 訓早熟於 可得詳 **船繩釵錜辱** 其顏色

**梅珣** 校藝衝尺量材舉燭以索遺珠撥雲而求定鏡蒼山 百信之天道我夫子學追董賈文儷王楊簪毫畫 偏頗而不平則固數十年如一姆織女布男錢百口齏鹽一錢 明說禮海內傾心高密傳經 丹禁之文章獻賦凌雲 **玗按巖壑之英浙水章江金箭采東南之美固** 输。 和 , 是 **擢青宮之侍從而且鏁闈** 日也泊乎課子和丸 引領者矣太夫

宴罷分來考权之羹蓮炬宵歸猶照敬姜之績當花初星晚月夕霞朝補華黍之詩奏壽人之 京國 **湔於慈訓以今準古異代** 河間 煙霏擊無忌之名 阻 無恙者神明水土 小。 能 。 能 。 高。 蟬 同符若 娚華 一詩奏壽人之曲蓬池工異宜何需乎隨朮每 廬。闾。華 同。億。 顧。 題。 題。 題。 成於幼時語 夫遠奉板 起 輸宏 興就 雲 郢。 。停。

禮必有祝餅秦漢以來類以歌詩爲壽揚舉令言稱貨 配受性文実理を一大 洪媺甚盛事也不揣拙僿敬獻頌言其辭曰 霜晨桃李雖艷不如蓼辛穀旦朱 與與增生,乘混流慶行庸有女子荃孫按古者嘉 具金匏互奏中梱飫樂自天佑之 一貫旣進穀旦朱陽馳聲南國保女北堂东 爾常戲穀罄宜以 旦壽觴跽陳 人貽謀之善亦可見去 四德令儀是法是遵雨露雖養不 (斯於世昌 陽壽觴再侑鍾 **羣流鏡**仁 o O 0 Ö 之誠行將言 百心。

雅之輪擩嚌道眞囘翔文苑方聞綴學之業邁於景鐘 作徽言之闡太夫人司隸清門莊姝令德稱詩納順率 儒富媼之所雕鑑實鍾壽母推其毓源之始徵厥炳 與以來武節斯競維我長沙夫子獨被儒者之服扶 研精覃思之功高於中壘固知祝融之所曜景是生魁 ではなからないかのでした。 之門光茂宏之緒焉旣而克相皇辟懍乎 由其得之我太師母鮑太夫人平敢卽舄奕之儀 山標天柱之奇樹嶽宗之望綱絡浯溎跨躡沅 和王臺謝其妍詞斑管發其新製天將以大定國 彭毓 海

**每當停鍼月落倚竹天寒若不知後此之金珥綴蟬揄** 姑儷若朝典喔喔鑄唱櫛桃侍晨軋軋機鳴篝鐙落燼 **愉懌其衷憫伯氏之無祿許士安以出後陶嬰之曲頓 衣畫翟也且夫娣姒之閒暌孤易起太夫人陶熙其性** 柔怡善下踟踖忘勞我太夫子慘奇律而莫宋韫懸藜 伯鸞吁其難矣夫何蘗砧響歇珠樹影摧含霜茹雪集 減悲涼謝庭之枝不妨移植自古爲難加人 而未收而乃警旦之聲久聞於鄭國賃春之事不勞於 長公學行式奉慈聞道園文章出自內訓我夫子騰聲 影懷辛以挌茶之勞爲折葼之教補蘿無屋納楹有書 一等在昔

芝坊領秩子墨客卿咸資準的翰林主人奉為軌涂推 霸之偽書斤魯人之贋鼎螽水無此澂清廬阜還其 **竹臺鈞天之享九奏秤訇見者歎為鯨鏗春麗鳳鳴** 日此夫子之力也卽太夫人之敎也英簜三持甌淛 一教也豫章文物近稍呰窳征軺直指慧鏡狐懸芟 川問俗天南弭節日北收來火齊赮純分朱鳥之 獨能皋牢眾態融冶羣才會稽玉牒之辭百資沐 珣玗璘妫鬬碧雞之色此夫子之力也卽太夫 致厥有稟階準斯以觀可得而言牂牁風土蒙段 天保承明之直蓮炬生光作博望之賓

樂此春日 多褐父佩玉無歌地 肸蠁緐祉葳蕤 **褊靡得而云已人第見** 新陰 夫子之力也即太夫人之教也至若盈蹊桃李 和唐山之 貯籠蔆苓都成俊物銀袍幾輩耀來子之衣 有晬而豈知曩者之悁劬 復馭才以德守約於豐陽蘆陰敷噓枯蘇 如古所謂 紺 曲其華國也 桃縹李之祥金松綺柏之 因仁 匪 為質輔義而行者與宜乎景 祇洹布金常滿莫不仰其波 宮錦 如彼其榮親也如此 荻邉 襲板與八年 圍 月正 曲悴憲心始 

鼠 散豬久愧氈點自出大賢之門稔聞聖善之實曷敢掞 張藻繪少溢錙毫所冀慈雲遠蔭愛日長綿躋起居 東京で主义に一会十六 之尊光會昌 士稱娖而前吳山越水之英黎收而拜毓海等深 昌豈徒實婺宵明助中台而煽煜謹序 **禾叔別裁釐嘉祐之偽體共聽女牀喤引調勰氣於** 和紅雪以同當九醖香醪泛紫霞 一品之集庶使韓公元氣埽綺麗之 ļ 而共酌南 詔

導崔邠之興北堂就養 倬飫聞慈訓因士行而景湛姑敢假鞶詞實臚懿則惟 上母鮑太夫人七· **曾疑朱戰退而侍膳茲以强圉之歲蕤賓之** 長擅大家之學德成焼婉頑椒有獻於端辰典緝 **靳仙算**況大焯等與宮尤倖託同袍 伯母鮑太夫人毓祥湘水箸系齊州幼媧季女之 元藝苑宗工蓬 丁壽言 ) 林十九争介賓筵女婇之紀五 鳳城春暖白華潔而吹笙燕寢 山魁宿橐枚乘之筆東觀畫聲 如林宗之 知季

既茹蓼以 鹿車之 於時門 挽 型作 婦功表其愔嫕自先生以生 仍干指地 八焦心 敬 於子 厨 都之 學畫 僅 婦 赤手指撐 錐花家之甑常 牛衣之泣瘁於 能請食 剉 上奉威姑內 計拮据 達王 **祛**衡 仲卿 眷 廟

丑宫尤入詞林旋晉春坊太夫 舍事戎軒鄂皖長征咤叱羊腸之馭遭沅遙戀徘徊鳥 似可長攝天龢不關家事乃猶隔圍屛而闚客式古 SEASANT Linds W/SF 1 少當歸之寄獨策壯 **有素聞變不驚果見柴子羔之** 以故宮允束己以繩 斷梁春菽 知孝子為滌養而行不揮別淚雖遠道 心軍潰壁門人傳噩耗而復信 水何資心期毛檄宮允迺辭親 說士若肉雞廉自勉龍性 來共幸銳司徒之 |板書來金刀識 一角と

曜於崇徽西母之琛將廣而壽世定見好德之疇錫白 且乎眾飲閫德家奉女師聖善發揚祓禧貪戢 **離之七紙官告院高集絳幔之諸生宣文堂啟綰綽之 赆非樊桐之圃難逢粹璞之賞虹侯其禕而茂乎鑠矣** 編凡我宮允之蔚作 、斯信純超之隊自甄葢非璇柏之淵莫睹明玭之 之蕃祉綏我眉壽榮八 皇極行義之號賁以 玉尺四持茲軋黜劉幾之體金壺 皇上尊養 兩宮日隆 八座之起居也哉是爲序 綸言又豈僅宜爾子孫萃 國華皆太夫人之垂爲舜教 孝治 灑麦傳踵班核 東朝之奉有

以宮允連主鄉試門下士畢集樹森等亦以年家子得 吾鄉王君益吾旋自雲南迎其母 與葢升堂介觴千有餘人皆文學士極 を受けるとは一人と 及於太夫人之伯姒母黨子婦猶子女公子及其子 **诉逾年始達又念太夫人遠行違戚里無以爲歡遂并 月氣力乃決意迎養念陸行勞苦涉江泛河自邗溝** 、來京師就養又七年歲丁丑太夫人壽七十而盆吾 一盛可謂榮矣雖然益吾初自雲南旋猶官編修非 了以行葢數十百指吾鄉去京師遠能迎 **誥封夫人鮑太夫** 旦 一時文物衣冠 彭樹

宗益晉之先又多積德太夫人尤孝敬能事舅姑冬著 則其子女盆吾之兄若弟不獲長世盆吾亦轉徙兵革 **明頓危者數乃卒發迹於科目太夫人晉期頤膺難得 《騎無怨無戚壹以勤苦相其贈公載之先生以禮教** 電樂亦固其所而余則尤多益吾之力爲其難發 歡心如此人之知王氏者每論曰 養而并及族姓戚郇者 田若干畝爲學田而未有後光遠有耀固將必於其 1-10145 VA 然行於事者曲盡信平太夫人獨享之樂京邑 見非外至之榮比也益吾勇於箸書戶 王氏有若水先

辯論過從登堂拜毋太夫人一言 吾父亦壽七十而十年之內盆吾德修業進余猶泮沈 乎其閒令人久而不忘獨念余與盆吾同舉又同歲生 靱掌故地志水經皆究悉之尤肆力古文辭余與反復 矣同人以侑觴之辭相屬余方自媿何足以仰述太夫 即署求 人盛美亦述其所以媿而羨者而已益吾其盆勉所 且以無名之遊宦違晨昏數千里外所以爲子者視益 如也然於此盆歎羨太夫人之福之厚為不可及 八者哉是爲序 第以慰高堂亦不可得壽日不獨不能召客 ٠ 動無不有誠意將

體有乖且事愈詳義愈陋即揆諸古人紀事之文恐去 必盡然也予同年有王益吾精於文者也屢握文衡多 得名宿去各典試浙江旋都以年伯母鮑太夫人今夏 列眾美惟恐一端弗備無以愜求之者之懷豈惟於序 阜姚姬傳諸家蹊徑各別大約撮舉要端衷之理道! 爲瑣陳謏碩之詞義法未有不同也近世崇尙鋪張臚 序最富者莫如歸熙甫至 五月七十初度命文彬壽叩所以爲文者則曰吾毋之 土母鮑太夫人七十壽言 古無壽人之文自宋以詩詞儷語相投贈明則益之以 國朝施愚山魏凝叔方靈

然必凍餓而無怨言者不敢沮乃翁志也男兒貴能 風文彬 作有時看有時替無時想故至今儉約自持不改塞素 窮但房幃或相摧讁則意紛而不能自力此關於家道 **歷典甚大又屢稱述先世勤儉家規爲勖謂人** 猶服夏時之服嘗語兒婦輩日吾當時不意全活至今 許輒託故去慮先祖母之弗飽也或隆冬衣裳質盡 日窮而無怨貴而不易其操此士君子之所難 即此足以徵益吾之振奮有自也 製先君授經在外吾母或竟日 須無時

なして自己という。 厥報者 前館 雄雉之詩婦 (徳行其賢) 雷ナ 敗績突圍 大考權宮僚茂聲 þ 忮 於。此益 則又過之 ø ¢ Q 婦 所遭 9 贈 U 0 公學雖未顯而益 而能自克其。 阜 Q 是盆吾 日震天 難 宋 C 玉

能名此益吾之所以善養親志而太夫人撫今追昔其 世費知所取則盆害精於文以爲無整於古人之義法 不曷有極耶益吾所述樸屬無溢離子亦曷敢襲世俗 浮談以進特著太夫人之有合於詩人所稱俾為 服承望顏色見吾母進一餐加一七則陶陶然樂草 其信道不惑如此今迎養京寓垂七年益吾司公 是爲序

吉之看秋喜登七秋將舉稱觥之禮用承扶杖之歡敢恩幸奉板輿來游京國竭凊温於冬夏已屆六年仰康 乞瓊琚藉光鑙帨振常重辱斯命深慚不文顧倖叨公 吾王君齋宿而來造廬而請日某自登粉署叨沐 乎維我年伯母鮑太夫人號自高門生有殊質受公宮 四教讀女誠七篇應淑德之好逑識善心之爲窈年十 九歸年伯載之贈公靜協陰律穆宣壼儀調琴瑟之 帝御宇之三年太歲彊圉亦奮若春正月我同年益 同年得拜宣文賢母又何可使黃裳勿表彤管無 十壽吉 錢振常

内而梅 門之 儀容於榛栗旨甘待奉得兩代之歡心几杖扶持 我年伯高堂重慶垂庇蔭於椿萱年伯 **姑嫜** 生 樂 善 樂 蘇韭芼調劑咸宜外 事所謂愛敬天情言容典禮者矣太年 而課讀硯 下撫子女鐵簪畫壁相夫子以持家 無遺安貧有素杯能化去錢 腰而已散年伯母籍鐙 豆遵之奉 田筆末難繼囊飧 内助 問是非 性賢 而聚酒壺飧魄遺 來者 背織 ) 曉詩書 同操桓 布釵荆 母中饋 不飛來券畫 執爨晨興 銅盤傳 洞 車 俱歸 無缺 開

歳出 中允聽西淸之鈴索掌東壁之圖書 盛金鎞刮目黑白無滑玉尺從心短長皆適泛豫章而 能如是歟歲甲子益吾登賢書乙丑入詞林自庚午 林服論文之識人第聞其聲華之鼎盛而不知折葼畫 **極枏盡選登會稽而竹箭都儲** 先是同治初盆吾慨家況之艱難思戎行之奮迹墨磨 内子分校禮。唱者 **盾鼻願草軍書米淅矛頭屢攖鋒刃吿急斷紙鳶之信** 一簾秋色湖山之景兼收萬種春花桃李之門更 一主試鄉舉者三復與 朝廷收得士之功士 綸綍朝宣輶. 大考特程

圍之江革幸返鄉園旣慰望於門闆遂仔肩於堂構 避兵少螢火之丸益吾作代檄之陳琳本無官守效 逢吉華鐙遠耀寳婺長明饍潔蘭羞鰡歽達池而佐餕 固孝思之不匱抑亦陰徳之必酬今者美意延年康 恩頒芝誥鶴飛海屋以添籌振常等久挹清芬熟聞 雖無鉅筆寫雲母之屏敢獻卮言侑麻姑之酒